

単元名: 中国語を教えながら学ぼう。

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	ことば	言語レベル	1	必要時間数	6時間

I 単元目標

中国人買い物客が増えているショッピングセンターでの職業実習に備えた事前学習会で、簡単な中国語の語彙や表現を、未習者に教えることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆買い物場面において必要な語彙を集めて ◆中国語の語彙にピンインをつけて表記することができる。整理することができる。 ◆中国語未習者にわかりやすく中国語を教えることができる。 ◆言語が通じないときのコミュニケーション・ストラテジーを構築することができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の商業施設の買い物場面で、中国人客が直面している問題を調べ、解決策について考えることができる。 ◆買い物の日中文化の違いを理解することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国語を習っていないクラスメートに分かりやすく教える工夫ができる。(高度思考) ◆中国語を習っていないクラスメートに実習に必要なことばを教え、一緒に実習を成し遂げることができる。(協働) ◆異文化コミュニケーションにおける言語の役割について考えることができる。(知識理解) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

コミュニケーション能力指標	<p>【ことば】</p> <p>1-a. どんな言語を学んでいるか言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-b. 自分の話す学習対象言語についての相手の評価を聞いて理解できる。</p> <p>1-d. 学習対象言語を学んでの簡単な感想を(おもしろい/難しいなど)言い合うことができる。</p> <p>1-e. 物の名前を学習対象言語でなんと言うか尋ねたり、日本語でなんと言うか教えることができる。</p> <p>1-f. 相手の話すことがわかったかわからないかを、口頭で伝えることができる。</p> <p>1-g. 相手の話すことがわからないときに、聞きかえしたり、ゆっくり言ってもらおう頼むことができる。</p> <p>1-h. わからない漢字の読み方を、尋ねることができる。</p> <p>1-i. 「中国語」の言い表わし方(漢語、中文、中国話、普通話など)を、見たり聞いたりして理解できる。</p> <p>1-j. 聞き取った音や知っている単語を、漢字やピンインでどう書くのか尋ね、書いてもらうことができる。</p> <p>オリジナル指標 教師の発した語句を聞き取り辞書で引くことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
---------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ペアワークで未習者に教える予備練習を行なう。(発音練習する際に工夫があった、相手のやり気をうまく引き出せたか) ◆教師を相手に接客のロールプレイを行なう。(表現の適切さ、発音の正確さ、コミュニケーションストラテジーの使い方) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国語未習者に実際に発音を教える。(発音練習する際に工夫があった、相手のやり気をうまく引き出せたか、分かりやすいか) ◆マニュアルを作成する。(必要な語彙、表現、場面に対応できる内容になっているか) ◆実習に参加し中国のお客様に対応する。(練習した表現を適切に使えたか、相手の理解できる日本語を効果的に使ったりマニュアルや辞書の助けを借りたりするなどのストラテジーが使えたか)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆聞いた語句をピンインで書き取る。【1-j】</p> <p>◆教師の発した語句を辞書で引く。【オリジナル指標】</p> <p>◆接客のロールプレイをする。【1-e, 1-f, 1-h, 1-j,】</p> <p>◆ペアワークで未習者に教える予備練習を行なう。【1-d】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況></p> <p>C市のショッピングセンターは最近中国人の利用が多い。C高校は毎年キャリア教育で2週間このショッピングセンターに職業実習に行っているが、昨年行った先輩から中国人の人のやりとりで困ったという話を事前学習会で聞いた。中国のお客さんにも、できるだけ対応できるようにしようと考えた。</p> <p><活動の流れ></p> <p>中国人のお客さんに買いたいものを聞いたり、売り場に案内するな対応するために、表現リストを作成する。</p> <p>中国語を勉強していないクラスの生徒のために、研修会を開き、辞書の引き方や発音を教えることにする。どのような表現が必要か考え、研修会で出た質問を元に、接客マニュアルを作成し、できるだけスムーズに買い物してもらえよう練習して実習に参加する。</p> <p>実習後に反省会を開き、実習場面における言語の役割、言語が通じないということはどういうことかなどについてみんなで話し合う。特に、中国語未習者であったクラスメイトの感想を聞き、自分たちの今後の中国語学習に生かす。</p> <p>ヒント</p> <p>◆教室において中国人講師を相手に擬似活動をする。</p> <p>◆老人ホームや保育園などの実習でも必要に応じてマニュアル作りをする。</p>	
<p><使用教材・教具></p> <p>辞書 パソコン 小売業者の接客マニュアル</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現></p> <p>你好！/谢谢！/欢迎光临！/欢迎再次光临！/你的发音很好。/声调不对。/文具在哪儿卖？/你要什么？/对不起，没有。/有圆珠笔吗？/有没有圆珠笔？/多少钱？/我要这个。/不要/请写一下。/请写拼音。/跟我念/大声地说/用汉语怎么说？</p> <p><表現のポイント></p> <p>あいさつ表現、“要”、“有”、“请～”、“在”、“什么”、“怎么”</p>	<p>拼音、声调、四声、发音、声母、韵母、生词、有、没有、要、不要、很好、可以、不好、第一声、第二声、第三声、第四声、轻声、大声地、给、想、用、不用、去、来、买、卖、付、交、试、退货、换、包、寄、帮、搬、拿、找、产、送、看、听、喜欢、欢迎、漂亮、好看、好、坏、大、中、小、长、短、贵、便利店、书店、面包、开门、关门、房、质量、问题、出毛病、广播、家、邮局、银行、便宜、新、旧、重、轻、有用、钱、日元、信用卡、现金、打折、免费、收费、别的、柜台、东西、牌子、名牌、块、元、圆、角、毛、分、个、件、枝、大号、中号、小号、颜色、黑(色)、白(色)、红(色)、绿(色)、黄(色)、蓝(色)、粉红(色)、咖啡色、商店、百货大楼、购物中心</p>	<p><事象></p> <p>◆中国語の特徴</p> <p>◆日本語との類似点や相違点</p> <p>◆中国語の発音のしくみ</p> <p>◆日中のスーパーの違い</p> <p>◆言語の役割</p> <p><事象のポイント></p> <p>◆日本語と中国語の類似点や相違点を考え、中国語の効果的な学習方法を、協力しながら自分たちで考える。</p> <p>◆発音の善し悪しを互いに判定し、改善に努める。</p> <p>◆日中のスーパーとの違いから中国の方の質問を推測する。</p> <p>◆特に異文化間コミュニケーションにおける言語の役割は大きいことに気づく。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
進路指導、地域の商業施設		商業